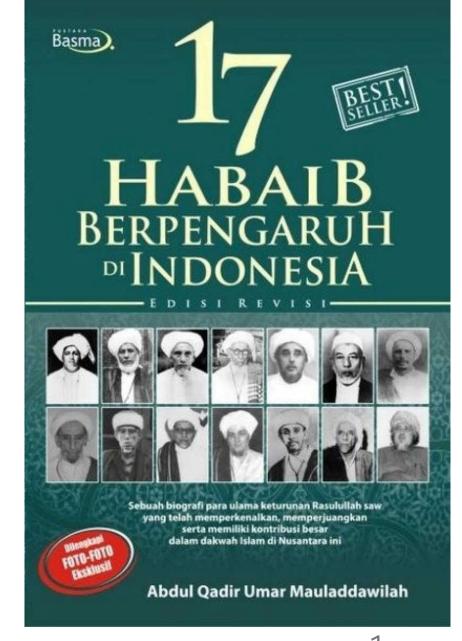
# インドネシアにおける預言者一族の現状

比較家族史学会研究大会シンポジウム 2024年6月23日(日) 静岡大学 新井和広



## イスラーム世界における系譜

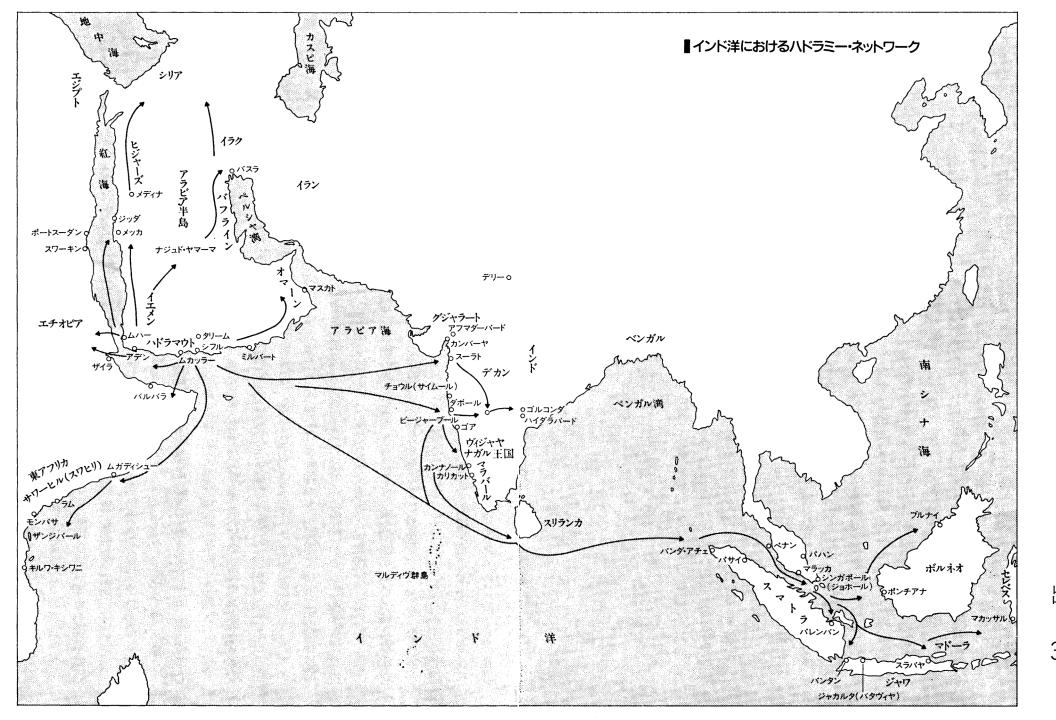
- 系譜意識の強さ(⇔イスラームの教義との矛盾?)
- 最も高貴なのは預言者ムハンマド(d. 632)につながる血統
  - 統治者から乞食まで
  - 男系(地域・時代により女系の子孫も含まれることがある)
  - 実子のみ記録
  - 社会・経済活動の単位とは必ずしも一致せず
  - 一族としての意識、結婚相手の選択への影響
- 預言者一族の地位については様々な論考が存在
  - 預言者一族としての特別な権利、義務、前近代の王朝による優遇措置
  - インドネシアだとビン・ヌーフの論考 [Bin Nuh 1987] が知られている。

## インドネシアの預言者一族

- 南アラビアのハドラマウト地方(現イエメン 共和国)起源の人びとがほとんど
- ハビーブ/サイイドという称号
- 移住の経緯
  - 10世紀にイラクのバスラからハドラマウトに移 住・定住 → 子孫の一部がインド洋沿岸地域にも移 住、その後定住
  - 16世紀頃~:インドへの移住
  - 18世紀頃~:東南アジアへの移住
  - 20世紀中頃:インド洋沿岸地域への移住の終焉
- 19世紀以降は東南アジア、特にジャワが最も 重要な移住先 → 現在のインドネシアにも多数 の預言者一族が存在



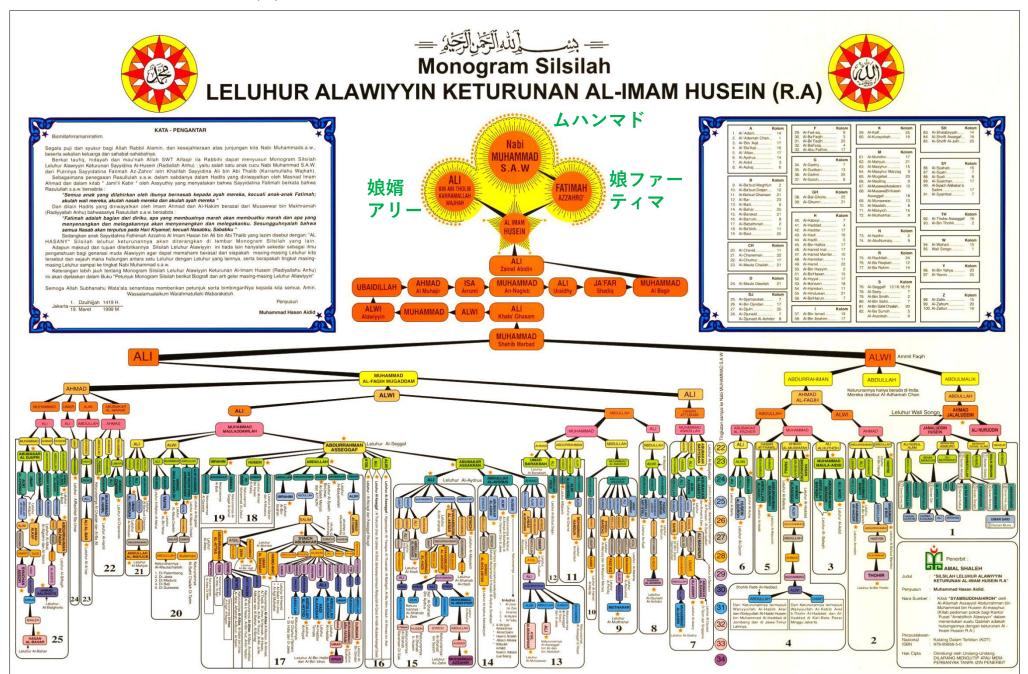
ハドラマウト (イエメン共和国)



出典:家島彦一 『海が創る文明』 346-7.

# インドネシアの預言者一族が保持する血 統の記録 [新井 2002]

- 1. 「閉じられた」血統の記録:非公開
  - アラウィー連盟(ジャカルタ)で記録されている詳細な系図
  - 19世紀末・20世紀はじめにハドラマウトで作成 → ジャカルタで更新 作業(居住地の拡大による情報喪失の危機)
- 2. 「開かれた」記録:出版・販売
  - ポスターや冊子など(聖者廟ほかで販売)
  - 歴代の偉人(宗教者、聖者)、血統の分岐点のみ記載
  - 閉じられた記録には記載されていない、在地の偉人も含まれる(系図の操作?)
- $\rightarrow 1 \, 2 \, 0$  使い分けによって一族の結束を図ると同時に自らの優越性を宣伝

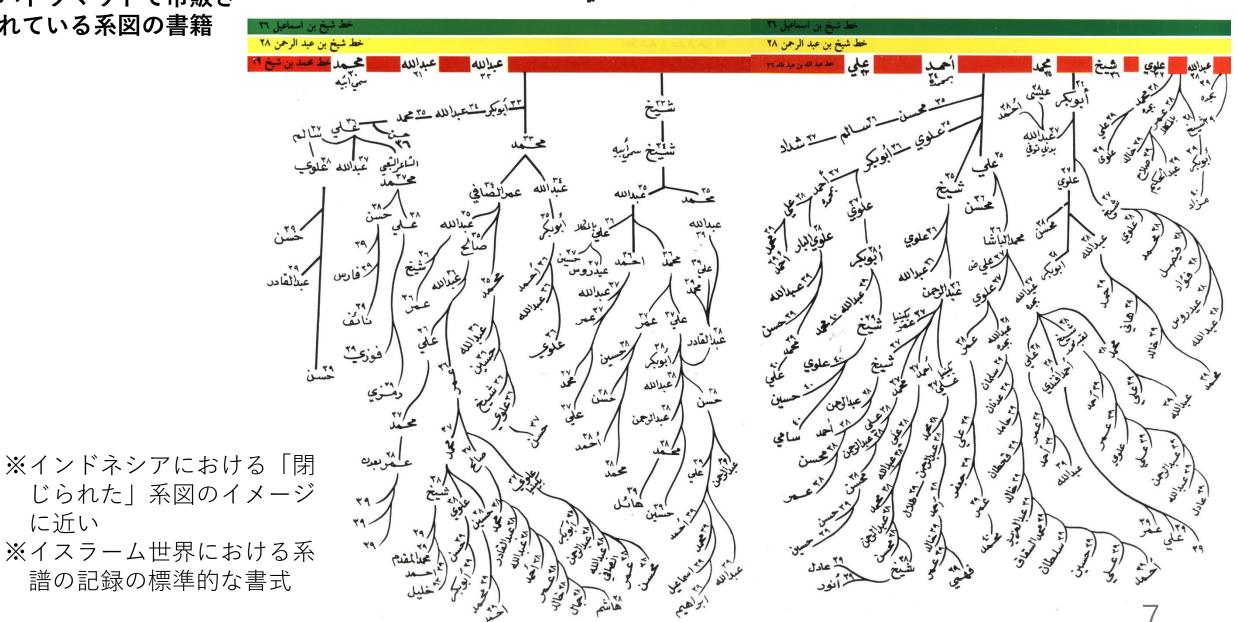


ハドラマウトで市販さ れている系図の書籍

に近い

### آل المصّافي البيتي وآل شِيخ بن شِيخ وآل عبد الله بن عبد الله

## ول و المحدين على بن المبر و المواسم بن المبدولات والبيتي



## 預言者一族の宗教活動

- ・ 主な宗教活動
  - 1. マジュリス・タアリーム (イスラーム勉強会) の設立
  - 2. プサントレン(宗教寄宿塾)の設立
  - 3. ダアワ (イスラームへの呼びかけ)
  - 4. 種々の慈善事業
  - →多くの追随者
- 預言者一族の活動に批判的な 人々も存在
  - 権威に追従する人々を生むだけ
  - アイドルを追いかけるように預言者一族を追いかけている



## 血統の信憑性を巡る論争(2022年~)

1. 若手の非アラブ宗教者、イマードゥッディーン・ウスマーンによる、預言者一族の血統の否定 → ハニーフ・アッタースほか預言者一族からの反論 → 再反論

「al-Bantani 2022, 2023」「Alathas 2023」ほか

- 2. それにともなう種々の議論(ワリ・ソンゴとハドラマウト起源の預言者一族との関係の否定など) [al-Bantani 2023]
- 3. ウェブ上での論考(PDF形式)の公開、 ソーシャルメディア(主にYoutube)に おける宣伝・議論

イマードゥッディーン・ウスマーン(上)と ハニーフ・アッタース(下)





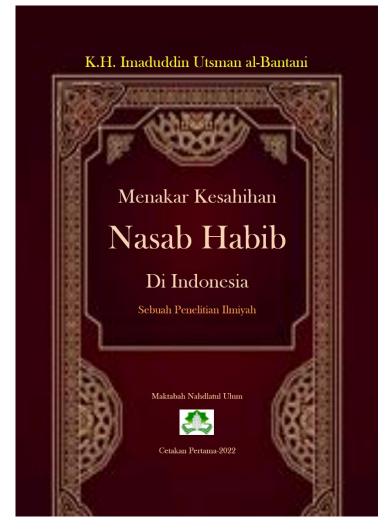
# 議論における2つの学問的枠組み

#### 1. 歴史学(tarikh)

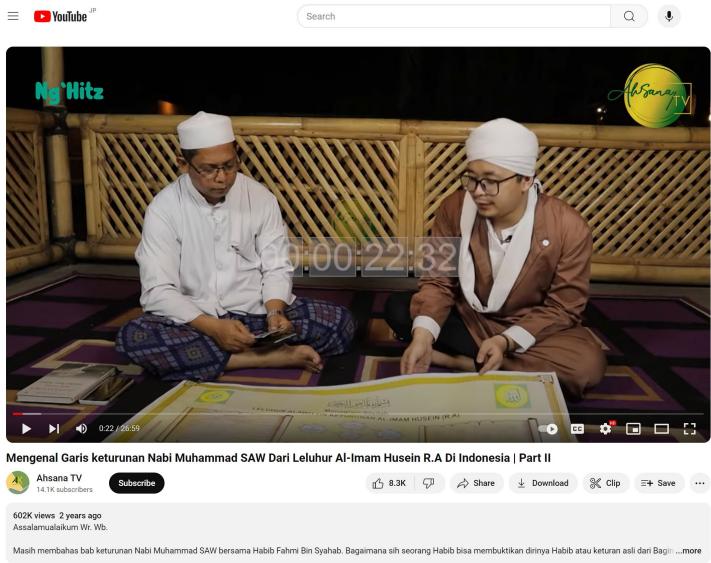
- 系譜の信憑性を疑う側の議論
- 年代記、列伝、聖者伝の記述を批判的に検討
- 「彼らが預言者につながる血統を持っていることは同時代資料には見つからない」

#### 2. 系譜学 ('ilm al-nasab)

- 預言者一族側の議論の土台
- 歴史学的に証明できなくても系譜学的に預言者 一族であることは証明可能
- 「ハドラマウトの預言者一族については詳細な 証言が存在し、様々な権威が血統を認めてい る」



# YouTube上での議論・宣伝合戦



## 系譜の信憑性にまつわる前回の論争

- 蘭領東インドでは1910-30年代に預言者一族の地位をめぐるアラブ系コミュニティ内での論争が続く  $\rightarrow$  血統の信憑性が問われる
- •議論自体は深まることなしに収束(血統への疑問は敏感な問題) [山口 2018]
- ※預言者一族の血統の信憑性への疑問は地域、時代を超えて存在
- ※インドネシアの預言者一族による系譜の操作に関する研究も 存在 [Alatas 2021]
- ※インドネシアにおける議論は管見の限り1920年代のものと今回のもの(今回の論争は100年ぶり2回目)

## 今回の論争によって何が変化したのか?

#### 1. 変化した点

- インドネシアにおける預言者一族の系譜に関する一般向け情報の量(系譜に関する書籍、文書、動画の公開を通じて)
- 2. 変化しなかった点
  - 預言者一族の追随者の意識
  - 預言者一族に批判的な人びとの意識
  - 預言者一族の活動

#### なぜか?

- 1. 議論はアラビア語の古典の解釈や、学問的な手続きをめぐるもの
  - インドネシアの一般信徒にはハードルが高い → 自分が「信頼」している人物の解説 を信じる
- 2. 現在の預言者一族人気は系譜だけによるものではない
  - 一般信徒へのダアワ (イスラームへの呼びかけ)
  - 各種慈善行為、集会・勉強会の開催など

## おわりに

- 1. 預言者一族の系譜の信憑性は時代・地域を超えて議論され続けて きた→2022年以降の議論もその流れの中で捉えることは可能
- 2. 今回の議論の新しい点
  - 1. アラブコミュニティの枠を超えた議論
  - 2. 疑問を呈したのが非アラブ系で、議論もアラビア語の史料に基づく具体的なもの
  - 3. ソーシャルメディアの使用
- 3. 今回の論争は、インドネシアの預言者一族の支持者と同様に批判者も相当存在することを示す
- 4. 預言者一族への敬愛は実質的な宗教活動によるもの → 血統は種々の活動を「飾る」ものであり、活動の土台そのものではない

## 参考文献

新井和広. 2002. 「旅する系図: 南アラビア、ハドラマウト出身サイイドの事例より」. 歴史学研究会編『シリーズ 歴史学の現在 8: 系図が語る世界史』東京: 青木書店: 213-240.

新井和広. 2020. 「サイイドの特権を保証する権威とは何か: 1931年にバタヴィアで出版された『真実の説明』を手がかりに」『人文科学(慶應義塾大学日吉紀要)』35: 1-23.

新井和広. 2023. 「現代インドネシアにおける預言者一族の位置づけ: アブドゥッラー・ビン・ヌーフほかの論考から」『東洋文化』103: 75-104.

山口元樹. 2018. 『インドネシアのイスラーム改革主義運動: アラブ人コミュニティの教育活動と社会統合』. 東京: 慶應義塾大学出版会.

Aidid, Muhammad Hasan. 1999. "Silsilah Leluhur Alawiyyin Keturunan al-Imam Husein R.A." [Serang (Indonesia)]: Amal Shaleh.

Alatas, Ismail Fajrie. 2021. What is Religious Authority?: Cultivating Islamic Communities in Indonesia. Princeton: Princeton University Press.

Alathas, Muhammad Hanif bin Abdurrahman. [2023]. Risalah Ilmiah Jabatan atas Syubhat Imaduddin Utsman seputar Keabsahan Nasab Bani Alawi. n.p.: uploaded to Google Drive.

(https://drive.google.com/file/d/1PZDbuFYbA20Ca4fZnS2hA3falrt4whgn/view アク15ス日:2023年6月30日) ※PDFファイル作成日は2023年4月19日.

## 参考文献

al-Bantani, K.H. Imaduddin Utsman. 2022. Menakar Kesahihan Nasab Habib Di Indonesia. [Banten]: Maktabah Nahdlatul Ulum. (https://www.nahdlatululum.com/wp-content/uploads/2022/11/Buku-Menakar-Nasab-Habib.pdf アクセス日:2023年6月9日)※奥付の日付は2022年10月.

al-Bantani, K.H. Imaduddin Utsman. 2023. Terputusnya Nasab Habib Kepada Nabi Muhammad SAW: Penyempurnaan dari Buku Menakar Kesahihan Nasab Habib di Indonesia. [Banten]: Maktabah Nahdlatul Ulum. (https://www.nahdlatululum.com/wp-content/uploads/2023/06/BUKU-NASAB-KEDUA-KH.IMADUDDIN-UTSMAN.pdf アクセス日:2023年6月13日)※序文の日付は2023年5月.

al-Bantanie, K.H. Imaduddin Utsman. 2023. Ilmu Nasab: Istilah dan Metodologi. Banten: Maktabah Nahdlatul Ulum Banten. (https://www.nahdlatululum.com/wp-content/uploads/2023/06/BUKU-ILMU-NASAB-KH.IMADUDDIN-UTSMAN.pdf アクセス日:2023年6月15日)

Bin al-Shaykh Abū Bakr b. Sālim, Amjad b. Sālim b. ʿAbd Allāh Abū Faṭīm. 2023.4.12. "al-Radd ʿalā man yunkir nasab sayyidinā ʿUbayd Allāh." Tarim: uploaded to Google Drive.

(https://drive.google.com/file/d/10aeLoR81fVQG8z2qbLj10uoTGo7MHN\_8/view アクセス日:2023年6月26日)

## 参考文献

Bin Nuh, Abdullah. 1987. Keutamaan Keluarga Rasulullah saw. Semarang: Toha Putra.

Maksum, Ibnu. 2023.6.22. "Bantah KH Imaduddin, Habib Luthfi Tegaskan Nasab Habaib di Indonesia Tersambung Rasulullah." Soara Nasional

(https://suaranasional.com/2023/06/22/bantah-kh-imaduddin-habib-luthfi-tegaskan-nasab-habaib-di-indonesia-tersambung-rasulullah/アクセス日:2023年7月4日)

Muwasholah TV. 2023.4.17. "NASAB BANI ALAWY? "Dialog Ilmiah Seputar Silsilah Ubaidillah bin Ahmad al-Muhajir" video uploaded to Youtube.

(https://www.youtube.com/watch?v=qLDckr\_Bj\_s 閲覧日:2023年7月6日)

Nuh, Abdullah Bin. 1987. Keutamaan Keluarga Rasulullah saw. Semarang: Toha Putra.

Team Tarbiyah Wa Da'wah, Dewan Pimpinan Pusat Rabithah Alawiyah, Dewan Asatidz Pondok Pesantren Sunniyah Salafiyah - Pasuruan. 2023. Risalah Tentang Ahlul Bait dan Nasab Baalawi. [Jakarta]: [Rabithah Alawiyah].

(https://ia902600.us.archive.org/17/items/risalah-nasab-sadah-baalawi-

1/Risalah%20Nasab%20Sadah%20Baalawi%20-1.pdf アクセス日:2023年6月13日) (2023年4月20日刊行)